

令和3年9月22日

都道府県医師会 担当理事 殿

公益社団法人日本医師会常任理事

宮川 政昭

(公印省略)

医薬品等に係る受領文書について（令和3年8月分）

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

今般、厚生労働省医薬・生活衛生局より医薬品等に係る下記の文書が当会宛てに送付されました。貴会宛てに送付させていただいた文書もございますが、それ以外の受領文書につきましては、本会ウェブサイトの薬務対策ページにてご案内しておりますので、貴会におかれましてもご参照いただければ幸甚に存じます。

つきましては、本件につきご了知いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

厚生労働省 発出年月日	文書名	日医発
R3. 8. 4	数量にかかわらず厚生労働省の確認を必要とする医薬品の改正について	(地 249)
R3. 8. 11	エレヌマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（片頭痛発作の発症抑制）について	第 422 号 (保 136) (地 257)
R3. 8. 11	テセルパツレブの最適使用推進ガイドラインについて	第 422 号 (保 136) (地 257)
R3. 8. 11	フレマネズマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（片頭痛発作の発症抑制）について	第 422 号 (保 136) (地 257)
R3. 8. 18	令和2年度 販売情報提供活動監視事業報告書について	(地 253)
R3. 8. 24	新型コロナウイルス感染症に係る医療用酸素ガスボンベの代わりに工業用酸素ガスボンベを用いて医療用酸素ガスを供給すること等について（医療機関及び製造販売業者等への周知依頼）	(地 256F) (健Ⅱ 281F) (保 133F) (介 84F)

R3. 8. 25	ニボルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（腎細胞癌）の一部改正について	第 461 号 （保 150） （地 285）
R3. 8. 25	ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（乳癌）の作成及び最適使用推進ガイドライン（非小細胞肺癌、悪性黒色腫、古典的ホジキンリンパ腫、尿路上皮癌、高頻度マイクロサテライト不安定性（MSI-High）を有する固形癌、腎細胞癌、頭頸部癌及び食道癌）の一部改正について	第 461 号 （保 150） （地 285）
R3. 8. 25	ウパダシチニブ水和物製剤の最適使用推進ガイドライン（既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎）について	第 462 号 （地 286） （保 151）
R3. 8. 26	パクリタキセル（アルブミン懸濁型）注射剤が安定供給されるまでの必要な患者への優先的な使用等の対応への協力について（周知依頼）	（地 266）
R3. 8. 27	デキサメタゾン製剤の安定供給について（周知依頼）	（地 267F）
R3. 8. 30	新たに薬事・食品衛生審議会において公知申請に関する事前評価を受けた医薬品の適応外使用について	—

薬務対策室 URL http://www.med.or.jp/doctor/sien/s_sien/002058.html

以上

<問い合わせ先>

日本医師会地域医療課 薬務対策室
（担当：野村、木内）

TEL 03-3942-6137 FAX 03-3946-2140

E-mail yakumu@po.med.or.jp